

「日経高配当株 30 指数」

算出要領

株式会社 日本経済新聞社

- ・本資料は日本経済新聞社（以下「日経」という）が算出・公表を行っている「日経高配当株 30 指数」の算出要領です。同算出要領は、今後、ルールの見直しなどに伴い変更されることがあります。
- ・本資料は日経の著作物であり、本資料の全部又は一部を、いかなる形式によっても日経に無断で複写、複製又は転載することができません。本資料は、指数への理解を深めるために作成された資料であり、有価証券の売買等に関する勧誘を行うためのものではありません。

(2026 年 10 月 19 日版)

1：概要

「日経高配当株 30 指数」は東京証券取引所プライム市場に上場する時価総額上位 500 銘柄のうち配当利回りが高い 30 銘柄で構成される配当利回りウェイト方式の株価指数である。

2：名称

正 称： 日経高配当株 30 指数

英文名称： Nikkei High Dividend Yield Stock 30 Index

3：銘柄の管理

（1）基本事項

- ・ 日経高配当株 30 指数の構成銘柄数は、原則として 30 銘柄とする。
- ・ 毎年 6 月に構成銘柄の定期見直しを実施する。
- ・ 翌年の定期見直しまでの間に生じた臨時の銘柄除外でも、原則として期中は銘柄を補充せず、毎年 of 定期見直し時に 30 銘柄にそろえ直す。ただし、27 銘柄未満になった場合は 30 銘柄となるまで補充採用する。

（2）対象銘柄

- ・ 指数の対象となる銘柄は、東京証券取引所（東証）プライム市場に上場する銘柄（普通株式以外を除く）のうち、時価総額上位 500 銘柄の中から選定する。ただし、プライム市場への上場から 3 年未満の銘柄、整理銘柄・特別注意銘柄に指定されている銘柄は対象としない。テクニカル上場を経ている場合は、新規上場銘柄ではなく完全子会社または消滅会社の上場日より判断する。

（3）構成銘柄の定期見直し

- ・ 毎年 5 月の最終営業日を「基準日」とする。6 月の最終営業日に銘柄を入れ替える。定期見直しによる銘柄入れ替えは、一定の期間をもって事前に公表する。
- ・ 3－（2）の対象銘柄の中から、基準日時点での「予想配当利回りランキング（日経の予想配当に基づく。決算期変更による変則決算の場合は予想配当を 12 カ月換算して調整）」を作成し、次の①～③の優先順位で高順位（予想配当利回りが高い順）の銘柄から 30 銘柄を選定する。なお、基準日時点で当年 3 月期までの決算が未発表の銘柄は

原則としてランキング対象としない。

- ① 予想配当利回りが 15 位以内の銘柄
- ② 現在採用銘柄で予想配当利回りが 60 位以内の銘柄
- ③ 未採用銘柄

ただし①～③の各々において 3 期連続最終赤字の銘柄や、期末予想が無配の銘柄、株価が著しく下落するなど特別の事情により高順位となった銘柄は採用しない。なお予想配当利回りの値が同じ場合は流動性（直近 1 年間の 1 日あたり平均売買代金）が高い銘柄を優先的に採用銘柄とする。

- ・ 財務データは、上場企業が公表する決算短信のうち、当年 3 月期を最新とする決算期までの 3 期分のデータを用いる。連結決算の値を優先する。
- ・ テクニカル上場を経ている場合、テクニカル上場以前の期については当該テクニカル上場で主体となったとみなされる会社の情報を用いる。この主体となったとみなされる会社は時価総額、売買代金、株式移転比率等を参考に決定する。

（４） 構成銘柄の臨時除外

- ・ 毎月（3 月～5 月を除く）の最終営業日時点で予想配当がゼロ（無配）に変化している銘柄は、翌月の第 7 営業日に除外する。
- ・ 構成銘柄が整理銘柄または特別注意銘柄に指定された場合には、原則として指定日から 5 営業日後に除外する。
- ・ 構成銘柄が統合などにより上場廃止となる場合には、原則として上場廃止日に除外する。
- ・ 監理銘柄に指定された銘柄については指定時点では原則として除外対象とはしない。ただし、将来の上場廃止の可能性がきわめて高いと認められる場合など、当該銘柄の採用を維持する事が著しく不適当と認められるに至った場合には、後日、事前に発表したうえで除外することがある。

（５） 構成銘柄の臨時補充

- ・ 臨時除外により構成銘柄が 27 銘柄を下回ることが明らかとなった場合には、定期見直しと同様の方法により「予想配当利回りランキング」を作成し、高順位の未採用銘柄から 30 銘柄となるまで補充採用する。ただし、3 期連続最終赤字の銘柄や、期末予想が無配の銘柄、株価が著しく下落するなど特別の事情により高順位となった銘柄は採用しない。予想配当利回りランキングの基準日は、臨時除外日の 5 営業日前の前月最終営業日とする。
- ・ 上記にかかわらず、企業再編に伴う銘柄除外については以下のケースを例に、特例的な銘柄採用を実施する。この特例的な採用可否の決定は、事由発生の都度、事由ごと

に再編後の実態等を勘案した上で行う。

- i. 次の事由に該当した場合、上場廃止銘柄の事業実態が継承される会社（現在未採用の東証プライム市場上場銘柄に限るが、短期間のうちに東証プライム市場に新規上場が予定される場合を含む）を除外銘柄に代えて採用することを原則とする。
 - ・ 被合併により上場廃止した場合の、合併存続会社
 - ・ 株式移転または株式交換により上場廃止した場合の、株式移転により設立される完全親会社または株式交換後の完全親会社
 - ii. 事業分割等により会社分割が行われ、分割後の複数の会社がプライム市場上場を継続する場合は、主たる事業の継承会社を原則として継続採用する。
- ・ 臨時補充の実施日は原則として臨時除外日と同日とする。ただし、企業再編に伴い上場廃止となる銘柄に代えて事業実態を継承する新規上場会社を採用する場合は、原則として採用する銘柄の上場日に入れ替える。

（６）過年度および本指数公表時点での構成銘柄

- ・ 遡及算出（後掲４－（８）参照）で用いた構成銘柄は、各基準日時点の予想配当利回りランキングで選定し、各基準日の翌月最終営業日に定期入れ替えを実施している。また上記（４）と（５）に記載の臨時除外・臨時補充ルールも適用し遡及している。
- ・ 2020年の定期入れ替えは、新型コロナウイルスの感染拡大によって業績予想の開示見送りや開示内容の取り消しが相次いだことを受け、8月31日を基準日とし前項の方法によって選定した銘柄を9月25日に適用した。

4：指数の計算

（１）基本事項

- ・ 配当利回りウェイト方式で算出する。ウェイト付けに際しては過去1年間の売買代金に基づく流動性を加味している。また配当利回りは日経の年間予想配当を使って計算した値を用いる。決算期変更による変則決算の場合は予想配当を12ヵ月換算して調整する。
- ・ 2016年6月30日（算出基点日）を10,000とする。
- ・ 指数の単位はポイントとし、小数点以下3桁目を四捨五入し2桁まで表示する。
- ・ 東証の株価を利用して、1日1回終値ベースで算出する。

(2) 計算式

- ・ 日々の指数値は以下の算式により計算する。

$$\text{指数値} = \Sigma \{ \text{株価} \times \text{ウェイト} \cdot \text{ファクター} \} \div \text{除数}$$

(3) 株価

- ・ 価格採用の優先順位は以下のとおり。
 - ① 特別気配、連続約定気配または臨時気配、② 終値、③ 基準価格
 - (基準価格とは、権利落ち理論値、前日の特別気配、連続約定気配または臨時気配、前日の終値の優先順で採用された値)

(4) ウェイト・ファクター

指数計算に用いる各銘柄のウェイト・ファクター（指数用株式数）は、定期銘柄選定の基準日に、次の方法により決定する。小数点以下切り捨て。

$$\text{ウェイト} \cdot \text{ファクター} = \text{予想配当利回り} \times \text{流動性係数} \div \text{基準日時点の株価} \times 10^8$$

① 予想配当利回り（％）

予想配当利回りは基準日時点における通期予想配当を株価で割ることによって算出する。上限を 5% とし、予想配当利回りが 5% 超となる銘柄は、5% として扱う。パーセント換算の値とし、切り捨てで小数点以下 2 桁。

② 流動性係数

流動性係数は東証プライム市場の時価総額上位 500 銘柄における相対的な流動性に依じてウェイトを調整するための係数で、直近 1 年間の 1 日あたり平均売買代金を使って与えられる。

時価総額上位 500 銘柄の中で平均売買代金の大きい順に 1～100 位の銘柄は 1、101～200 位の銘柄は 0.8、201 位～300 位の銘柄は 0.6、301 位～400 位の銘柄は 0.4、401～500 位の銘柄は 0.2 とする。

③ ウェイトキャップ

定期銘柄選定時に、上記の方法によりウェイト・ファクターを決定する際に、特定の銘柄のウェイトが指数構成銘柄全体の 5% を超える場合は 5% 以内に収まるよう

にウエート・ファクターを調整する。

- ・ 構成銘柄が 27 銘柄を下回った場合に実施する臨時入れ替えの際の補充銘柄のウエート・ファクターは、補充銘柄の選定に利用した基準日時点のデータを基に決定する。この時点で、当該補充銘柄以外の構成銘柄のウエート・ファクターは変更しない。
- ・ 持ち株会社化などで新規上場する銘柄を除外銘柄に代えて採用する際の補充銘柄のウエート・ファクターは、除外銘柄のウエートを引継ぐように除外銘柄のウエート・ファクターに移転比率等を勘案して決定する。
- ・ ウエート・ファクター設定以降、構成銘柄に株式分割、株式併合がある場合は、その比率に応じて当該資本異動の権利落ち日にウエート・ファクターを調整する。

(5) 除数

- ・ 算出基点日である 2016 年 6 月 30 日の除数は次のように決定する。

$$\text{除数} = \Sigma \{ \text{算出基点日の株価} \times \text{ウエート・ファクター} \} \div 10000$$

- ・ 算出基点日以降、構成銘柄の銘柄入れ替えの都度、次の計算式で除数を修正する。

$$\begin{aligned} \text{翌日の除数} &= \text{当日の除数} \\ &\times (\Sigma \{ \text{翌日構成銘柄の翌日用基準価格} \times \text{翌日用ウエート・ファクター} \}) \\ &\div (\Sigma \{ \text{当日構成銘柄の当日株価} \times \text{当日ウエート・ファクター} \}) \end{aligned}$$

- ・ 除数の修正は、算出結果を小数点以下 5 位で四捨五入し、小数点以下 4 位までとする。

(6) スピンオフ

- ・ 構成銘柄の株主にスピンオフによって独立した会社の株式が割り当てられ、当該銘柄が短期間のうちに新規上場する場合、当該銘柄をスピンオフの権利落ち日から上場日まで一時的に指数の算出対象に加え、上場日の翌営業日に算出対象から外す。
- ・ 一時的に算出対象に加える銘柄の株価は上場して有効な株価が生じるまでの間、公開価格または流通参考値段を用いる。ウエート・ファクターはスピンオフ元の構成銘柄のウエート・ファクターにスピンオフの割当比率を勘案した値を設定する。

(7) 指数値の修正

- ・ 指数値の修正を必要とする事象が後日発生、判明した場合には、原則として、判明以

降最初に到来する指数算出日を当該変件事象の発生日として指数計算に反映し、原則として過日にさかのぼっての修正は行わないものとする。

（８）過年度遡及分の算出

- ・ 算出基点日（2016年6月30日＝10000）まで、終値ベースで遡及計算している。
- ・ 遡及算出に用いた構成銘柄は、３－（６）記載のとおり。

５：その他

（１）配当込み指数の算出

「日経高配当株 30 指数」の関連指数として、配当を加味した以下の指数を、日々終値ベースで算出する。

「日経高配当株 30 指数（トータルリターン）」

「日経高配当株 30 指数（ネット・トータルリターン）」

配当の取り扱いなど、計算上の基本事項は「日経平均トータルリターン・インデックス」に準拠している。

（２）利用許諾

「日経高配当株 30 指数」（日経高配当株 30 指数（トータルリターン）および同（ネット・トータルリターン）を含む。以下同様）は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は「日経高配当株 30 指数」自体及び「日経高配当株 30 指数」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有している。「日経高配当株 30 指数」を利用した先物・オプションなどの金融派生商品を提供したり、ファンドやリンク債などの金融商品の組成・売り出し、又はデータ提供する場合などで「日経高配当株 30 指数」を商業的に利用する場合は、日経との利用許諾契約が必要になる。

（３）免責

株式会社日本経済新聞社は、「日経高配当株 30 指数」（日経高配当株 30 指数（トータルリターン）および同（ネット・トータルリターン）を含む。以下同様）を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、一切の責任を負わない。日経は、「日経高配当株 30 指数」の計算方法、その他「日経高配当株 30 指数」の内容を変

える権利及び公表を停止する権利を有している。

「日経高配当株 30 指数」は原則として本資料に記載された方法等に基づいて算出される。ただし、本資料に記載のない事象が発生した場合や本資料の方法による算出が困難と日経が判断した場合は、日経が適当とみなした処理方法により算出することがある。また、同算出要領は、今後、ルールの見直しなどに伴い、変更されることがある。本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害などについて、日経は一切その責任を負わない。

(4) 問い合わせ先

日本経済新聞社 インデックス事業室
メール：index@nex.nikkei.co.jp

(別紙) 算出要領・変更履歴

2026 年 10 月 19 日版	初版
-------------------	----